



▲上杉景勝公以降、歴代藩主が眠る上杉家廟所

風間…私が一番初めに米沢に来たのは小学校の4年生か5年生の時です。
また、青年会議所関係でも大変お世話になり、そんな関係でなじみが深く、いつ来ても歴史

歴史を生かした #101010

います。私は子どものころから怖いものだという感覚しかなかったですからね。今はあこがれ、または今の男にない「おとこ気」を感じているのかなと若い女性たちに思うところがあるのですが。
安部…それは、私たちの親の世代ですと、講演本に出てくるヒーローは、本当の歴史に基づいた人物たちかというところ、そうではなく脚色されていて、本質的にはこれに似ているのではないかと思います。

と文化の香る、すてきな城下町だなと思っています。
安部…ありがとうございます。
風間…特に上杉神社の周りが子どものころに来た時に比べると変わっていて、この間、個人的に米沢を訪れた時に、大変うらやましく思いました。昨年、鬼小十郎まつりで白石においでいただきましたが、安部市長から見た白石はいかがでしたでしょうか？
安部…一つは、すばらしいお城です。コンパクトにまとまっていて、コンパクトだからこそ身近で手触り感があるというか、親しみやすいのです。城跡に復元した市民の皆さんの熱意と技術に対して感心しました。
風間…ありがとうございます。
白石城の復元は、市民の皆さんの力で、実現することができました。今度は、それをいかに活用するかというのが課題となっています。
安部…そして、二つ目には大変おいしい白石温麺です。仙台出張の際には、必ず食べています。風間…ありがとうございます。そう言っていたら、とてもうれしく思います。昨年、鬼小十郎まつりの時にも、物産の販売を行っていたとき、米沢牛もコロッケもあつという間に売り切れてしまったと聞いていま



Sanjuro ABE

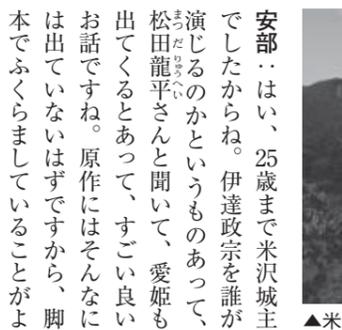
安部…はい。今年「天地人」もありですが、市制施行120周年を迎えます。そこで、特別なイベントはしないで、この「天地人」こそが120周年に巡ってきた大きなイベントとらえてさまざまな受け皿づくりをしたいと思います。米沢市は工業都市と言われると思いますが、何で食べていくまちかと言われるとき、観光でも食べていけるまちとなっていく大きなチャンスだと思っています。今年はお

す。食べ物も文化ですから、これからもご協力いただければと思います。
白石も戦国時代の歴史、また幕末の歴史をモチーフにしながらまちづくりを進めていこうと思っていますが、米沢市では今年直江兼続の「天地人」がありますので、それ生かしていくと思います。白石市民にアピールしていただくのがありがたいのですが。

客さんがたくさん米沢を訪れたけど、次の年は元に戻ったというのではなく、今年ふくらんだ観光客数が、さらに伸びていくような観光の町にしたいと思っています。長い年月をかけたから、史跡の整備や町の中を緑のベールで覆うという「花と樹木に覆われたまちづくり」の計画を進めています。
風間…壮大な計画があつてうらやましいですね。私たちも人口減少になるとか歯止めをかけたとい、「4万人都市復活大作戦」としてさまざまな事業を行っています。その中で観光による交流人口を拡大して、まずは白石を見てもらい、そして住みたいまち、住み続けたいまちになってほしいと考えて観光ビザールを行っています。
そのためには、白石をもっともっと発信しなければならぬと思っています。今年、米沢市が「天地人」で大きくクローズアップされますから、その中に白石が出てこないかなと期待をしています。
安部…当然、出てくると思いますよ。白石城を巡っての伊達政宗と甘粕景継との戦いがありますからね。
風間…配役を見ても伊達政宗も出てきますし、米沢市は伊達政宗にも関係がありますからね。

安部…2期目のご当選、大変おめでとうございます。
風間…ありがとうございます。考えてみると、安部市長さんは1年違うということですね。安部市長さんは一昨年の12月から2期目ですね。さて、昨年からは「天地人」が上杉景勝の執政、直江兼続が主役で放送されるということで、米沢が脚光を浴びてうらやましい限りですね。われわれも今、片倉小十郎ブームで全国各地から白石を訪れていただいています。今度、米沢市に多くの皆さんが訪れると思いますが、昨年の鬼小十郎まつりの時にもそれを感じられたと思います。

安部…はい、25歳まで米沢城主でしたからね。伊達政宗を誰が演じるのかというものがあつて、松田龍平さんと聞いて、愛姫も出てくることあつて、すごい良いお話ですね。原作にはそんなには出ていないはずですから、脚本でふくらませていることがよく分かりました。
風間…伊達政宗は出るだろうと思っていました。でも、愛姫まで出てくるという、まして愛姫役はかつての大河ドラマ「独眼竜政宗」で政宗役をやった渡辺謙さんの娘さんだということ、これももううれしいですね。これを機会に、米沢を訪れた方が白石にも歴史をたどってきて仙台にも寄るとなると、一つの回廊みたいなことができると思いますね。



▲米沢と白石を結ぶ歴史の舞台となった白石城

Profile

●安部三十郎さん
昭和28(1953)年9月、米沢市生まれ、55歳
米沢興譲館高校卒業後、早稲田大学法学部に入學卒業後、会社員や専門学校講師(社会学)、行政書士などをしながら、福島大学大学院(地域政策専攻)修士課程を修了
平成15(2003)年11月30日に米沢市長選で初当選
同年12月22日、第33代米沢市長に就任。現在2期目



山形県米沢市長 安部 三十郎さん

風間市長の 新春対談

今年の「新春対談」のお相手は、明治22年に日本で最初に市制を施行した全国の39市の中の1市であり、今年市制施行120年を迎える山形県米沢市の安部三十郎市長です。

米沢市は、本市から国道113号で約1時間20分のところにあり、山形県の母なる川「最上川」の源である吾妻連峰のすそ野に広がる、福島県と県境を接する山形県最南端のまちです。

安部市長と風間市長は東北市長会で知り合い、昨年10月に本市で開催しました「鬼小十郎まつり」の際には、片倉小十郎コンテストの審査員としてお忙しい中にもかかわらず、米沢市の物産と共にご参加いただきました。

また、戦国時代における白石城の戦いや戊辰戦争での奥羽越列藩同盟など、白石城を舞台にした歴史の転換期に米沢と白石は深くかかわっています。

今年、米沢城主の「直江兼続」の生涯を描いたNHKの大河ドラマ「天地人」放送されることになっており、全国から多くの皆さんが米沢市を訪れることと思います。

これからの交流やお互いのまちづくりへの協力などについてお話を伺いました。



戦国武将ブーム

風間…昨年は、鬼小十郎まつり審査員として、ご参加いただきましたこと厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。
安部…2期目のご当選、大変おめでとうございます。
風間…ありがとうございます。考えてみると、安部市長さんは1年違うということですね。安部市長さんは一昨年の12月から2期目ですね。さて、昨年からは「天地人」が上杉景勝の執政、直江兼続が主役で放送されるということで、米沢が脚光を浴びてうらやましい限りですね。われわれも今、片倉小十郎ブームで全国各地から白石を訪れていただいています。今度、米沢市に多くの皆さんが訪れると思いますが、昨年の鬼小十郎まつりの時にもそれを感じられたと思います。